

東北ダンプ



【発行】全日本建設交運一般労働組合(略称・建交労)東北ダンプ支部
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2

建交労福島ダンプ内

2024年3月1日発行 NO.21

TEL024-933-4511 fax024-921-1868

Email: fukusimadanpu@mtj.biglobe.ne.jp



「レクサス」とは言わないが 「クラウン」ぐらいは余裕で乗れるはず

今回の能登半島地震でも、大手ゼネコンや地元建設業界の活躍が報道されています。まとめ役になっているのは建設業者ですが、危険なかけ崩れ現場で昼夜を分かたず活動しているのは重機やダンプの運転手です。台風が来ても、地震が起きても、携帯1本で呼び出されるのはダンプ労働者です。

平常の現場でも、危険と隣り合わせで工事にあたっているのはダンプ労働者です。日銭を稼いでいるため、多少の体調不良でも休むわけには行かない、ダンプを何とか維持しなければならぬと頑張っています。設計労務単価にはこのような事情も織り込まれています。

したがって、体調不良の際は休暇を取り、仕事が薄い季節には休息をとる事も出来る仕組みになっています。真面目に働けば、「クラウン」ぐらいは楽勝で乗れる条件はあります。ダンプに支払われるべき「お金」の相当部分が元請のところで止まってしまう現状を変える必要があります。

2024年度も大幅に引き上げられた 「設計労務単価」

国土交通省は2024年度に適用する「設計労務単価」を公表し、3月1日より1ヶ月前倒して実施します。設計労務単価とは、公共事業を行なう際の標準的な単価で、国も地方も同じ単価を使います。

ダンプの場合は「一般運転手」が適用され、特に今年度は大幅に引き上げられました。

秋田のダンプ運転手は 日当が29,100円? エエエッ~!!

新しい「一般運転手」の単価は、青森が28,100円、岩手が25,500円、宮城が28,500円、秋田が29,100円、山形が25,600円、福島が24,300円となります。ダンプ持ち労働者の場合は、これに必要経費を加えた78,000円程度が1日の標準的な単価となります。

上記の単価はどの様にして決められるのか、毎年、全ての都道府県の実勢単価(実際に支払われている単価)を調査して、その平均値を設計労務単価とします。大手ゼネコンや各県の建設事業者が政府の調査に応じる仕組みです。この理屈で行くと、秋田で働いているダンプを持たない運転手には、1日29,000円程度が支払われ、自家用ダンプを持っている労働者には78,000円程度(経費込み)が支払われていることとなります。

実際には、そんな金額を受け取っている労働者は居ませんから、いかに建設業者(元請)が儲かっているか分かります。私の福島県でも、地元業者の社長(Aクラス)になると、1,000万円台のレクサスに乗っているのが当たり前です。
◀右上へ▶

組合常用単価⇒2024年度は 55,000円(60,500円/税込)を 元請に提示します

3月1日以降の契約になる公共工事に於いては、1日55,000円の単価を提示して交渉します。現在は53,000円です。2,000円の引き上げを求めますが、政府の決定に照らしても妥当な金額です。この金額を実現するうえで最大の問題は「組合の仲間が確信を持てるか」ということです。

ダンプキャラバン行動を例にとると、福島ダンプ以外は行動参加者が2~3人です。自分たちの運動に確信が持てれば参加者も増えると思います。

世の中は大幅賃上げを騒いでいますが、東北ダンプにとっても正念場となる新年度です。
(森谷)



晴釣雨読(せいちゅううどく)
溪流釣りは十代後半、奥入瀬溪流が始まりでほぼ半世紀ほどやり続けて振り返ると小学生の頃、ヘアナ釣りが始まりで、溪流釣りの終着駅は、鮎(あゆ)の友釣り(ともづり)で終止符を打つことになる。半世紀にわたって釣ることにはどんな欲になっていたか、食べ方や料理の仕方を学ぼうとは考えもしないまま今日に至った。▼川魚は癖が強いこともあり、料理の仕方でも難しいイメージが強く、やってみようと思わないことが主な要因であろう。
▼川魚料理が好きかと思えば、鮎の塩焼きは好きである。塩焼きは塩をふりかけて焼くだけで料理とは言えないが、鮎釣り師だけの特権があると思う。川で釣り上げてから焼く直前まで鮎を生きたまま調理場へ移動できる道具「バックル」を持っていることが新鮮で格別な塩焼きが食べられる。▼鮎は海から遡上当初は主に水棲昆虫を捕食し、成長につれて河床に付着する珪藻を食べる。育ち、お腹にたつぷり藻の香りが蓄えられ特徴的な香りが漂う。まるで野菜や果物のような爽やかさを感じる独特の香魚へ成長を遂げる。▼飛び跳ねて鮮度のいい、特に成長した子持ち鮎の塩焼きと冷えたビールがこの上ない至福のひと時で、鮎に感謝だ。▼食通として有名な北大路魯山人も鮎の繊細な味を愛し、一番おいしい鮎の食べ方は「はらわたを抜かずに塩焼きをして火傷するほど熱いものに醤油(たです)を絞ってかぶりつく」と言い残している。▼鮎の食べ方の調査報告によると百人中九十九人が塩焼きと答えるほどの人気である。東北の風土に根差した川魚料理はたくさんあると思うが、秋田の鍋料理と言えは誰もが連想する「比内地鶏のきりたんぼ料理」だが、美味しい「鮎出汁のきりたんぼ料理」が湯沢市にあると聞いた。▼今年のダンプキャラバンでの出会いに思いを巡らす。
高橋溪峰

暮らしの知恵袋 【3月】

◆わが家も避難通路を確保

24年元日の能登半島地震では、発災直後の国の役割がきわめて重要であることを思い知らされました。行政に対しては、住宅の耐震化支援を含め、災害への有効な備えを求めていく必要があります。

同時に各人も防災を心がけていきたいもの。まずは自治体のハザードマップなどで地域の災害リスクや、避難場所・避難路を確認しましょう。

わが家の危険箇所も点検して、安全な避難通路を確保します。散らかった部屋は危険がいっぱい。非常時に脱出しにくく、普段でも転倒する危険性があり、掃除もしにくいので片づけます。

棚や家具などの上に置いてある物は、すべて地震で落下するものと考えて、できるだけ置かないようにします。

玄関や部屋の入出口付近、廊下、階段などに物を置かないようにします。

■家具類の地震対策

家具類の地震対策も行いましょう(東京消防庁ホームページ参照)。

- 納戸や据え付け収納家具に集中収納して、努めて生活空間に家具類を置かない
- 通路、出入口周辺、寝る場所、座る場所にはなるべく家具を置かない。置く場合は背の低い家具にするか、向きを工夫
- 棚などへの収納は、重い物は下の方に収納して倒れにくくする
- 窓際に重量物などを置かないようにする。外に落下する危険性がある
- 家具や家電製品をL型金具などで固定
- 開き扉ストッパーを取り付ける
- 書棚などには本などの落下を防止するバーやテープを設置する
- ガラス扉には飛散防止フィルムを貼る
- キャスター付き家具は普段はロック
- 机、冷蔵庫、テレビ、電子レンジなどはベルトや粘着マットなどで移動を防止
- 吊り下げ式照明はワイヤーなどで固定

元請と合意はしたが、 さて、配車はどうするか？

東北ダンプ支部では、様々な現場を捉えて「使用促進闘争」を展開しています。少し前までは、福島県内の工事が大半でしたが、現在では宮城県内、秋田県内にも広がりを見せています。使用促進闘争の「真髄」は、交通安全を担保するための適正単価を実現する事です。現在の到達点は、1日53,000円(58,300円/税込)ですが、新年度は55,000円(60,500円/税込)を要求していきます。

使用促進闘争には課題が二つある ～元請の説得と配車問題

使用促進闘争では、大きな課題が二つあります。一つは、元請と交渉して適正単価を認めさせ、12条団体にふさわしい就労台数を確保する事です。二つは、現場の配車をどうするのかという問題です。一般的な考え方としては、多くの組合員が少しずつ分担して就労しようという「公平性」を建前にする配車です。

私は元請と交渉する立場にあって、この考え方には反対です。現場に責任を持つ元請会社、実際にダンプを動かす下請会社にとって、現場に入るダンプを固定して貰いたいと思うのは当然の事です。ところが、建交労の場合はダンプが度々交代するので使いづらいと言われます。

福島ダンプの経験ですが、元請が大成建設、下請がN建設という現場がありました。最初は1日2台で半年間程の予定でしたが、延長が繰り返され、終わってみれば1年半ほど就労しました。就労した組合員から喜ばれたのは勿論ですが、元請や下請からも「安定していて使い易い、だから延長して使った」との感想も聞かれました。組合の仲間からも不公平だなどの声は出ませんでした。

同じ現場に交代で別のダンプが入ると、下請などからは比較するものが出て来ます。前のダンプは気が利いていたが、今回のダンプは一々言わないと理解しないとか、様々なクレームも寄せられます。働く方にしてみれば、1年間の中で30日程度の就労では、ありがたみも感じる事はないと思います。

1日2台で半年程度の現場であれば、3ヶ月で交代するぐらいが適切です。元請や下請から、ダンプは固定してくれと言われたら、交代しないのが得策です。ましてや1台の配車であれば、同じ人で完結して欲しいというのが、交渉する立場の本音です。

使用促進闘争と班作りは 表裏一体の関係～地域ごとの班活動が大事

使用促進闘争では、配車問題が必ずあります。地域ごとに「班」を結成して、日常のルールを作っていれば、合意した現場に誰が入るのか、キャラバン行動に誰が休みを取って参加するのかなどがスムーズになります。これらの事を、組合専従者がさじ加減でやったり、現場の仲間に頭を下げてお願いしたりすると、「弱々しい組合」になって行きます。自分たちが組合活動の主人公、誰かにお願いされて活動している訳ではない、と思えるような組合を作りましょう。

地域ごとの「班体制」は特効薬です。

(森谷)

建交労共済会 2023年度

拡大キャンペーン

いざ!に備えよう

実施期間
2023年9月1日
～
2024年6月30日

◆ 一例 ◆


新規に組織共済に加入した組織に
→ 月額掛金3ヵ月分の還元

組織共済に継続して加入する組織に
→ 純増人数×1,000円

個人セット共済に新規加入
→ 個人に5,000円分の商品券
プラス組織に5,000円

詳しくは【建交労共済会】へ

03-3360-8021 info@kenkourou.or.jp



2024年度予算案に物申す 大軍拡も万博もやめて 復興・防災、暮らし中心に